

—令和 6 年 9 月調査結果—

呉市の景況は、製造業・非製造業、共に悪化。

—輸出関連の製造業は円安の影響で好転したが、自動車関連は生産数が伸びず、非製造業は厳しい状況続く—

・調査方法 郵送によるアンケート調査 ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など 10 項目について ・令和 6 年 9 月を前年同月と比較 ・令和 6 年 10 月～12 月の先行き見通しを令和 6 年 9 月と比較 ・調査時期 9 月下旬 ・調査対象 呉市内の業種別主力企業 100 社 (回答 68 社、回収率 68.0%)	・9 月の景況を見ると、下の表の通り、 総合（全業種） DI（良い－悪い）は△6.7→△13.2 と、全体では前期に比べ、6.5 ポイント悪化 業種別では、製造業は、44.7%の企業が横ばいの回答で、DIは△12.8→△13.2 と 0.4 ポイント悪化。 非製造業は、73.3%の企業が横ばいの回答で、DIは 0.0→△13.3 と 13.3 ポイント悪化。
【DI 方式について】 DI（ディフュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。 ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。 DI＝（増加・好転等「良い」の回答割合）－（減少・悪化等「悪い」の回答割合）	・10～12 月の先行き見通しでは、 総合（全業種） DIは△2.7→8.8 と 11.5 ポイント改善する見通し。 業種別では、製造業は、DIは△5.1→15.8 と 20.9 ポイント改善する見通し。 非製造業は、DIは 0.0→0.0 と横ばいの見通し。

総合（全業種）では、△6.7→△13.2 と、呉市の景況は前期に比べ、6.5 ポイント悪化。来期は、△2.7→8.8 と、11.5 ポイント改善の見通し。

業種別概況は、製造業は横ばい、非製造業は悪化している。9 月調査による令和 6 年 10～12 月先行き DI 数値は、令和 6 年 6 月調査による令和 6 年 7～9 月先行き見通しに比べて製造と非製造業は共に改善する見通し。

呉市の景況は、製造業の製紙業は円安とスエズ運河問題で中国が好調。自動車関連は販売台数が伸びない為生産量が横這い。造船関連は受注が好調。非製造業は人件費・原材料価格上昇などによる価格転嫁により客足が遠のき悪化している。全体として資材の高騰や、中国の景気衰退など海外輸出に不安がある状態ではある。

非製造業では、卸売業が人口減少等による販売数の減少。小売業も価格上昇で消費者マインドが下がり売り上げが伸び悩んでいる。サービス業も、宿泊は観光客が伸び悩んでいる。

来期の景況は、製造業では、大幅な改善は見込めないが、おおむね現状以上の生産量を見込む。非製造業では、サービス業が 10 月の大型イベントによる売り上げを見込むが消費者の動向が楽観視できない状況が続く。

業種別景況（DI）

		2024 年 6 月 実績	2024 年 9 月 実績	今 期			6 月調 7～9 月 見通し	9 月調 10～12 月 見通し	来 期		
				回答社数構成比（％）					回答社数構成比（％）		
				好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合（全業種）		△6.7	△13.2	14.7	57.4	27.9	△2.7	8.8	20.6	67.6	11.8
製造業		△12.8	△13.3	21.1	44.7	34.2	△5.1	15.8	26.3	63.2	10.5
非製造業		0.0	△17.2	3.4	75.9	20.7	0.0	0.0	13.8	72.4	13.8
	建設業	△16.7	△33.3	0.0	66.7	33.3	0.0	△16.7	0.0	83.3	16.7
	卸売業	△14.3	△18.2	0.0	80.0	20.0	0.0	△9.1	0.0	90.9	9.1
	小売業	△20.0	0.0	25.0	50.0	25.0	△20.0	0.0	25.0	50.0	25.0
	サービス業	36.4	0.0	0.0	88.9	11.1	9.1	22.2	33.3	55.6	11.1

呉市の業種DI(R4.12～R6.9)

